

青少年育成県民運動(見直し案)に係るパブリック・コメント実施結果

- 1 実施期間 令和6年12月18日～令和7年1月17日
- 2 意見の件数 5件(2名)
- 3 提出された意見の概要及びそれに対する県の考え方等

番号	見直し案の該当箇所			意見概要	県の考え方
1	基本方針	—	—	時代に対応した方針(素案)だと感じる半面、「鹿児島らしさ」「鹿児島の特徴」が十分に反映されていないようにも感じる。	「3 基本方針(2)」に記載のとおり、鹿児島の教育的伝統と風土を生かし、青少年育成県民運動を進めていくこととしております。 「鹿児島らしさ」「鹿児島の特徴」については、推進要綱の「(2)地域全体で青少年を育む取組の推進—②地域ぐるみの青少年育成—」「イ 異年齢集団での体験活動等の推進」に記載のとおり、鹿児島の古くからの伝統である地域で青少年を育てる風風を盛り上げ、異年齢集団での体験活動や伝統行事・伝統芸能・方言の継承等の推進に取り組んでまいりたいと考えています。
2	基本方針	1 基本理念	冒頭	多様性と包摂性 → 「包摂性」という文言が、読む人に理解されるか疑問。他の分り易い表現はないだろうか。	「包摂性」という文言は、「子供・若者育成支援推進大綱」で使用されており、青少年問題協議会の委員の意見でも「多様性と包摂性のある社会を目指して」と記載してはどうかという意見もあったことから、見直し案で使用しているところです。 いただいたご意見を参考に、今後の具体的な事業の推進に当たっては、分りやすい表現になるよう工夫していきたいと考えています。 なお、基本方針及び推進要綱で、意味が分りづらい用語等は公表の際に用語解説を添付したいと考えています。
3	基本方針	2 現状・課題	(1)(2)	鹿児島県の現状・課題となっているか。地域の特性に基づく課題があるのではないかと。 個人的には、鹿児島県の青少年の実態を捉えた時、 ・ 地域活動(行事)や自然体験活動の取組への二極化 ・ 伝統文化(行事)等が途絶えたことに伴う地域住民のつながりの希薄化 ・ 組織(町内会、社会教育関係団体等)への加入率の低下 等 鹿児島県の自然・歴史・文化を十分に活用した視点があると、鹿児島らしさが伝わってくると思う。また、「郷土に学び・育む青少年運動」推進要綱とのつながりも生まれてくると思う。	いただいたご意見の現状・課題については、基本方針「2 現状・課題」に記載しております、「地域社会の連帯感の希薄化」という文言でまとめて表現しているところです。 鹿児島県の自然・歴史・文化を活用した視点については、「3 基本方針(2)」に記載のとおり、鹿児島の教育的伝統と風土を生かし、青少年育成県民運動を進めていくこととしております。 その上で、推進要綱の「(2)地域全体で青少年を育む取組の推進—②地域ぐるみの青少年育成」に記載のとおり、自然体験や社会体験等でふるさとを愛する心を身につける場等の体制づくりの促進や、鹿児島の古くからの伝統である地域で青少年を育てる風風を盛り上げ、異年齢集団での体験活動や伝統行事・伝統芸能・方言の継承等の推進に取り組んでまいりたいと考えています。
4	基本方針	3 基本方針	(1)	「鹿児島県の教育的伝統と風土」→ どのような伝統と風土なのか、若い人や県外から転入された保護者に理解できるか。 例えば「異年齢集団での教え合い・学び合いを重んじる郷中教育や、昔から地域全体で子どもを見守り・育てる環境がある風土。」といった説明を加える必要はないか。	鹿児島県の教育的伝統と風土については、推進要綱の「(2)地域全体で青少年を育む取組の推進—②地域ぐるみの青少年育成—」「イ 異年齢集団での体験活動等の推進」において、地域で青少年を育てる風風や異年齢集団での体験活動や伝統行事・伝統芸能・方言の継承等の内容を記載しております。 いただいたご意見を参考に、今後の具体的な事業の推進に当たっては、必要に応じて説明を加えるなど工夫していきたいと考えています。
5	基本方針	3 基本方針	(1)	1人ひとり → 通常の表記であれば、一人ひとりでは?	いただいたご意見のとおり修正を行いました。